

# 日吉大社自然観察倶楽部通信

## No.7 夜の日吉大社を歩こう！

H23年7月30日

大雨も上がり、少し涼しくなった夕闇の中、8名で夜の日吉大社を探検しました。夜の生き物を刺激しないため、赤いライトで照らしながら夜道を歩きます。いつもとは雰囲気の違いで静かで暗い境内に、どんな生き物が潜んでいるのでしょうか？

まずは、西受付をスタートして、日吉会館に向かいました。ここには普段、アブラコウモリが縦横無尽に空を舞っている……はずだったのですが、見つけることは出来ませんでした。コウモリは暗闇の中でも、超音波を使ってスイスイ飛ぶ事が出来ます。血を吸うイメージを持っている方もいるかもしれませんが、アブラコウモリは蛾や蚊などの虫を主食としています。



アブラコウモリの標本

もしかしたら雨で、蛾が飛んでいなくて、ねぐらにこもっていたのかもしれませんが。

次に、飼育されているニホンザルを観察しました。20時前では、まだ起きていて、赤いライトをあまり気にする様子が見えませんでした。サルを見ている時に「ピューイ」という鳴き声。どうやら、ニホンジカのようなようです。西本宮の奥の方から聞こえてきました。期待を胸に、西本宮へ向かいます。

特別に、夜に西本宮に入らせてもらおうと、サワガニが出迎えてくれました。しかし、もうシカの姿はありません。その代わりに、この水路には魚がいることが分



りました。この水路は、大宮川と繋がっているようです。須原さんが手で水面を濁らせると、餌かと思い、小魚が何匹も出てきました。かわいいなと思っていたら、大きな魚が横切りました。虫取り網で格闘すること5分。何とか捕まえて確認することが出来ました。

アブラハヤだと思われます。

←アブラハヤ

(大宮川の別の場所で撮影)

また、須原さんから日吉大社と動物に関する話がありました。それによると、西本宮楼門にはサルの彫刻があり、シカも描かれています。本殿には、左に狛犬、右には獅子が置かれています。狛犬には角があり、獅子は巻き髪になっているのが見分け方です。そして、日吉大社といえば神猿(まさる)が有名で、神の使いとされていますが、なぜ、サルなのかということに関しては定かではないそうです。

今度は、東本宮へと向かいながら、まだまだ生き物を探します。

途中でヒキガエルにも出会いながら、辻田先生が教えてくれたのは変な形の葉っぱでした。ニホンジカの食べた跡です。シカは、昼間は茂みなどに隠れてじっとしているのですが、夜になると食べ物を探しに出てくるそうです。姿は確認できませんでしたが、さっきの鳴き声と合わせて、ここにシカがいることは間違いないようです。

他にも、木の枝に卵を産むモリアオガエルや、ゲンジボタル、ライトに集まる虫などを探しましたが、見つけることは出来ませんでした。

植物の観察と違って、動物はある場所に行けば、絶対見られるというものではありません。

右の写真は、日吉大社にいると思われるムササビです。うろのある様な大きな木に巣を作り、飛膜を広げて空を滑空します。辻田先生いわく、その姿は「座布団が空を飛ぶ」そうです。今回は出会うことはありませんでしたが、筆者個人としても是非一度見てみたいものです。

今回、夜の日吉大社を歩き、いつもと違う雰囲気味わうことが出来ました。最初は暗かった道も、慣れてみるとほんのり明るくなってきました。今回紹介した動物は数こそ少ないかもしれませんが、意外と人の出入りしない時間にたくさんの生き物がいるなど感じました。今回よりも遅い時間、または早朝、違う時期に観察すると、また違う生き物に出会えるかもしれません。



ニホンジカ♀(奈良公園)



ムササビの標本

### 観察できた動物(昆虫)のリスト

2011.7/30 日吉大社境内 19:30-21:00

- ニホンザル⇒西本宮手前の檻(まだ寝ていない)
- ニホンジカ⇒西本宮手前(鳴き声)、東本宮(葉っぱの食痕)
- アブラハヤ⇒西本宮の水路(大きいのが一匹・小さいのは十数匹)
- <その他>
- ヒグラシ・アブラゼミ(鳴き声)、ヒキガエル、サワガニ、ヒラタクワガタ♀、シロヒトリなど